

郡山市総合戦略 評価・検証の実施について

1. 評価の概要

本市では「人口減少・地域経済縮小克服」及び「復興力の維持・強化」を目指して、2015年度に策定した「郡山市総合戦略」(計画期間：2015～2019)の取組の評価・検証を踏まえ、2020年3月に「郡山市総合戦略(2020改訂版)」(計画期間：2020～2024)へと見直しを行いました。
この「郡山市総合戦略(2020改訂版)」における各施策について、PDCAサイクルによる検証を行い、改定の機会での事業見直し等の改善につなげていくため、このたび、2022(令和4)年度の実績について評価を行いました。

2. 評価の手法

・KPIの現状値及び傾向の把握、総合的な取組についての定性評価を実施。

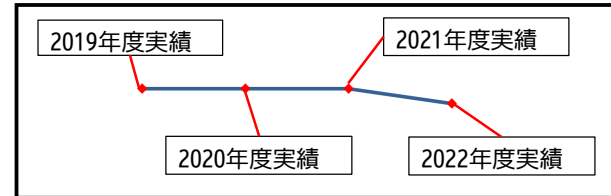
◇KPIの傾向について

KPIについては、2024(令和6)年度の目標値達成に向けて、策定前である2019(令和元)年度の値と比較し、2022(令和4)年度の実績値がどのような傾向(進捗)にあるかを総合的に判断しました。

2022(令和4)年度の評価	
↗	目標値に対して、上回っているもの
→	目標値に対して、概ね計画どおりであるもの
↘	目標値に対して、遅延しているもの

◇2019年度からの実績変動について

2019年度～2022年度までの実績値の推移を示した折れ線グラフになります。各項目により最大値最小値が変わっているため、4年間の実績値の増減の確認のため使用しました。



3. 「郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者懇談会」の開催

○2023年9月13日(水)
「令和5年度 第1回郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者懇談会」にて、委員の皆様から、2022(令和4)年度の実績値に関する意見をいただきます。
※懇談会開催結果(意見要旨及び本市対応)については、随時、本市ウェブサイトにて公表します。

4. 各基本目標に定めるKPIの達成状況(総括)

【基本目標1】
●創業・起業者数や商談会等による商談件数は、専門家等の派遣事業や3年ぶりにリアル開催したこおりやま産業博等により、国際情勢等による物価高騰や新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても増加した。

【基本目標2】
●観光客をはじめとする交流人口は、行動規制の緩和により、2021年度との比較では増加した一方、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、目標値の達成が目前にあったコロナ前との比較では半減している。

【基本目標3】
●認可保育所等の国基準待機児童は、2021年度に引き続き0人を達成することができたが、合計特殊出生率や出生数は、全国的な傾向と同様、本市においても減少傾向にある。
●3歳児健診における虫歯有病者率は、2014年度には25.40%だったが、昨年は11.49%となるまで改善することができた。

【基本目標4】
●セーフコミュニティ国際認証を2023年2月に再取得し、交通事故多発地点マップの作成や事故予防の啓発チラシの作成等に継続的に取り組んだ結果、市内における交通事故死亡者数や犯罪件数の減少などの目標達成に向けて進展した。一方で、交差点形状や区画線、カーブミラーの不具合等がある交通事故の発生可能性がある危険箇所として283箇所の調査を行い、2023年10月末までに白線の引き直し等の修繕が完了予定である。

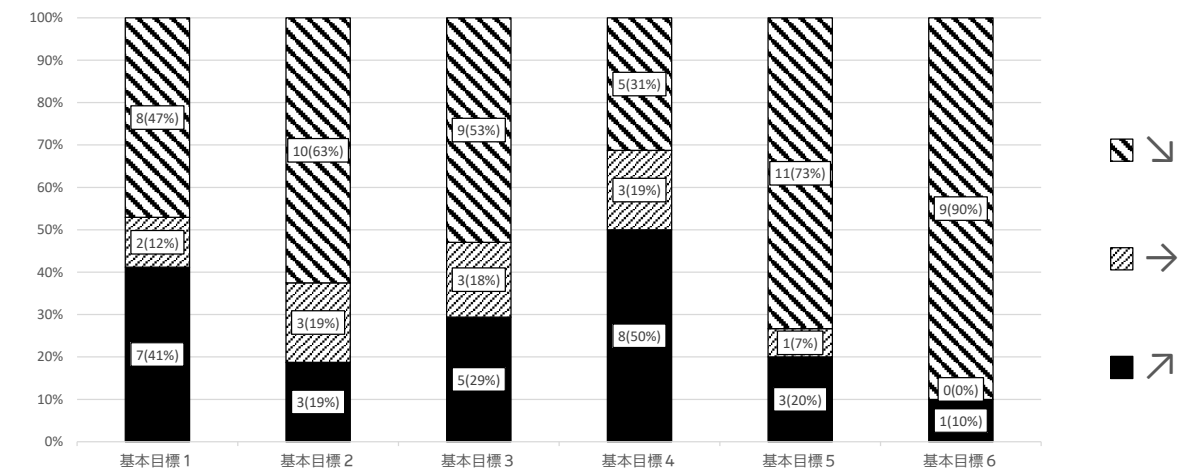
【基本目標5】
●高齢者スポーツ大会の開催や受動喫煙防止対策の推進等により、元気高齢者(65歳以上の要介護認定を受けていない方)は増加している一方で、高齢者全体に占める要介護認定率も増加傾向にあることから、引き続き、更なる健康増進を図るための各種施策に取り組む必要がある。

【基本目標6】
●生涯学習の満足度は、あさかの学園大学の生徒数の微増により向上傾向にある一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、公民館の利用者数は減少している。
●小中学校の教育用パソコン・タブレット端末については、2021年度末に1人1台の配備し、目標値を達成している。今後においては、教職員が有効活用できるよう、研修機会の充実やサポート体制の更なる強化に取り組む必要がある。





4-①：参考(全体概況)

基本目標		1	2	3	4	5	6	計	比率
		DXに対応した生産性の向上と魅力ある雇用環境の創出	地域の魅力発信と「関係人口」の創出	切れ目ない子育て支援と女性・子育て世代の活躍推進	住民・企業が集う気候変動対応型まちづくりの推進	あらゆる世代が居場所と役割を持ち生きいきと暮らせるまちづくり	教育の質の向上と誰もが楽しく学べる環境づくり		
基本目標の数値目標(各基本目標に係るKPI)	↗	1	0	0	1	1	0	3	25%
	→	1	1	0	1	0	0	3	25%
	↘	1	1	2	0	1	1	6	50%
	計	3	2	2	2	2	1	12	
個別施策の数値目標(各事業のKPI)	↗	6	3	5	7	2	1	24	30%
	→	1	2	3	2	1	0	9	11%
	↘	7	9	7	5	10	8	46	58%
	計	14	14	15	14	13	9	79	




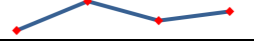
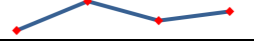
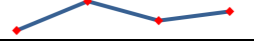
4-②：参考(基本目標別指標の達成状況)








基本目標1：DXに対応した生産性の向上と魅力ある雇用環境の創出

<p>【各基本目標のKPIの傾向】</p> <p>■「小売業商品販売額」は現時点で目標値を達成しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響のほか、昨今の不安定な国際情勢等による物価高騰や為替相場の変動等により減少しており、減少に歯止めをかけるための更なる取組の強化が必要である。</p> <p>■「製造品出荷額」については、新型コロナウイルス感染症の影響のほか、昨今の不安定な国際情勢等による物価高騰や為替相場の変動等により減少傾向にあり、目標の達成に向けた更なる取組の強化が必要である。</p> <p>■「新たな企業立地に伴う新規雇用者」については、積極的な企業誘致を行ったことから増加している。</p>			<p>SDGsのゴール</p> 		<p><これまでのまちづくりネットモニター等での主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・郡山市はDXが少しずつ進んでいるので、これからも情報化社会に特化した都市を目指してほしい。 ・テレワーク等によるさらなる働き方改革によって、都心からの移住等を喚起するような取組が必要ではないか。 ・首都圏と比べて、就職先の選択肢が少ないので、企業の誘致をもっと積極的に行う必要がある。 ・経済県都として、農工商各分野及び大学等学術研究機関との連携により具体的な取り組みを推進する必要がある。等 			
各基本目標のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動
1	小売業商品販売額	商業統計調査及び経済センサスに基づく小売業商品販売数	3,406億円/年 (2012)	4,337億円/年 (2016)	4,249億円/年 (2021)	3,724億円/年	→	
2	製造品出荷額	工業統計調査及び経済センサスに基づく製造品出荷額等	8,411億円/年 (2013)	7,101億円/年 (2018)	6,466億円/年 (2021)	7,464億円/年	↓	
3	新たな企業立地に伴う新規雇用者数	西部第一工業団地等への企業立地に伴う新規雇用者数	-	325人	433人	500人	↑	


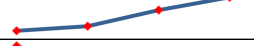

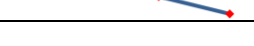
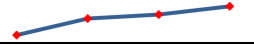
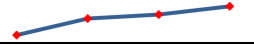
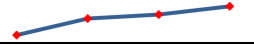
施策1：「知の結節点」としての優位性を生かした積極的な企業誘致と新たな市場開拓

個別施策のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動											
1	創業・起業数	市内において、新たに創業・起業した人の数	54件/年	50件/年 (2018)	79件/年	50件/年	↑												
2	郡山西部第一工業団地等への企業立地件数	郡山西部第一工業団地等への企業立地件数	-	5区画/年	6区画/年	5区画/年	↑												
3	商談会等による商談件数	こおりやま産業博における商談件数	(2020改訂にあたり新設)	80件/年	292件/年	80件/年	↑												
<p>【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】</p> <p>■ 支援機関（郡山商工会議所や株式会社福島銀行等）との連携のもと、登記にかかる登録免許税の軽減や専門家等の派遣事業の実施により、創業者の支援件数の増加及び創業・起業数数の増加に繋げることができた。</p> <p>■ こおりやま産業博を3年ぶりにリアル開催し、事業者の商談機会を提供したことにより、新型コロナウイルス感染症の影響により一旦は低下した実績値を回復・向上させることができた。</p> <p>⇒【課題】新型コロナや物価・エネルギー価格の高騰の状況下で、継続した事業者支援が必要である。</p>			<p>【参考】創業支援事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値 (2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>創業者支援件数(件)</td> <td>742件</td> <td>1,050件</td> <td>597件</td> <td>↑</td> <td></td> </tr> </table>					主な成果指標	実績値(2019)	実績値 (2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	創業者支援件数(件)	742件	1,050件	597件	↑	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値 (2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
創業者支援件数(件)	742件	1,050件	597件	↑															


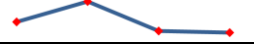
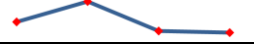
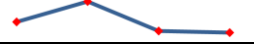
施策2：多様な学術研究機関と地元企業が連携した地方発イノベーション

個別施策のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動											
1	産学官コーディネーター数	研究機関と地元企業等のニーズ・シーズの把握によるマッチング件数	-	23件/年 (2018)	21件/年	30件/年	↓												
2	産学官連携による共同研究に参画した企業数	大学や公設研究機関等と連携し共同研究を実施する企業の件数	-	21件/年 (2018)	6件/年	25件/年	↓												
<p>【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】</p> <p>■ 研究機関や企業を訪問し、大学等での研究内容や企業の製品開発等に関するニーズ・シーズを収集し、これらの情報をもとに、市内大学と企業との個別面談の仲介や研究機関と連携した市内企業による医療機器開発の支援など、研究機関と企業との個別マッチングを進めた。</p> <p>⇒【課題】再生可能エネルギー分野や医療福祉分野を中心とした新たな産業の創出、関連産業の集積及び育成を図るうえで、大学や研究機関、支援機関等と連携した支援体制の構築や連携した企業支援等の体制を整備する必要がある。</p>			<p>【参考】産業イノベーション事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値 (2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>連携推進事業による共同研究等の数(件)</td> <td>24</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>→</td> <td></td> </tr> </table>					主な成果指標	実績値(2019)	実績値 (2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	連携推進事業による共同研究等の数(件)	24	14	13	→	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値 (2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
連携推進事業による共同研究等の数(件)	24	14	13	→															


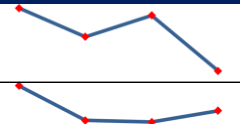
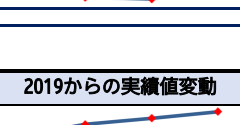
施策3：農林業のICT化と構造改革による成長産業化

個別施策のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動											
1	地域と連携して開発した商品数	農工商観連携により創出された商品数（累計）	1件	9件	15件	12件	↑												
2	ワイン用ブドウ生産量	「ふくしま達瀬ワイナリー」産地形成のためのワイン用ブドウ生産量	(2020改訂にあたり新設)	18t	39t	50t	↑												
3	国内・国外における郡山産米「あさか舞」販売量	郡山産米「あさか舞」の国内外における販売量	1,747t/年	1,760t/年 (2018)	1,468t/年 (2021)	2,000t/年	↓												
4	鯉養殖生産量（県南鯉養殖漁業共同組合）	県南鯉養殖漁業共同組合における鯉養殖生産量	550t/年	797t/年 (2018)	660t/年	800t/年	↓												
<p>【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】</p> <p>■ ワイン用ブドウや鯉をはじめとする六次化を進めることで、開発した商品数やブドウの生産量は増加傾向にある。</p> <p>⇒【課題】あさか米の消費量は減少傾向にあるため、引き続き、高付加価値化や米粉の利用促進に注力していく必要がある。</p> <p>■ 本市の鯉食文化の復活を狙った「鯉食キャンペーン」を継続実施し、鯉取扱店は2021年度には84店舗だったが、2022年度は90店舗に増加。</p> <p>⇒【課題】市内の取扱店は増加しているが、後継不足や全国的な消費低迷により生産量が減少しているため、更なる消費拡大PRが必要である。</p>			<p>【参考】こおりやま園芸産地づくり支援事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値 (2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>園芸用施設設置面積</td> <td>831,000</td> <td>838,000㎡</td> <td>850,000</td> <td>↓</td> <td></td> </tr> </table>					主な成果指標	実績値(2019)	実績値 (2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	園芸用施設設置面積	831,000	838,000㎡	850,000	↓	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値 (2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
園芸用施設設置面積	831,000	838,000㎡	850,000	↓															

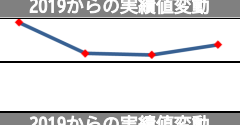
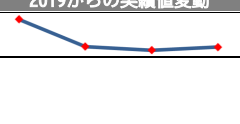
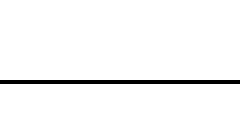
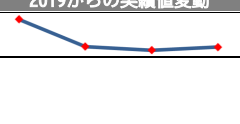
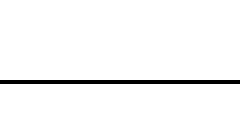
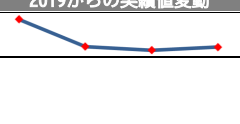
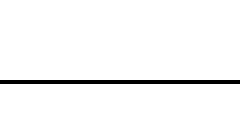
施策4：誰もが安心して働くことができる魅力的な就業環境と担い手の確保

個別施策のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動											
1	新規高等学校卒業者の県内企業への就職内定率	ハローワーク郡山管内における就職希望の新規高卒者の県内就職内定率	78%	99.6% (2018)	99.1%	100%	↓												
<p>【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】</p> <p>■ 新規高等学校卒業者の県内企業への就職内定率は高い水準を保っている。</p> <p>⇒【課題】新規高等学校卒業者の就職内定率は県外企業への就職内定率も高い水準を保っており、県内就職希望者を増加させるため、学校関係者と地元企業の連携を強化するとともに、県内企業の情報発信力を強化する必要がある。また、就職後に何らかの理由で離職した方や働くことに不安のある方、進学等で県外へ転出された方、高齢者、障がい者、出産等で退職された女性など、誰もが安心して就職・就業継続できるよう、DXを活用した地元企業情報の発信と就業体験の創出、本人の特性に合わせた就職活動支援を拡充していく必要がある。</p> <p>■ 授産製品については、ファミリーフェスタ等の出店機会が新型コロナウイルス感染症の影響により減少した。</p> <p>⇒【課題】低下した実績値の回復・向上のため、更なる取組が必要である。</p>			<p>【参考】障がい者授産事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値 (2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>障がい者授産製品の売上</td> <td>10,441</td> <td>8,806</td> <td>10,300</td> <td>↓</td> <td></td> </tr> </table>					主な成果指標	実績値(2019)	実績値 (2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	障がい者授産製品の売上	10,441	8,806	10,300	↓	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値 (2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
障がい者授産製品の売上	10,441	8,806	10,300	↓															

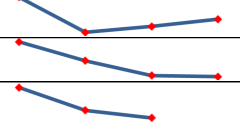
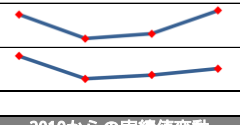
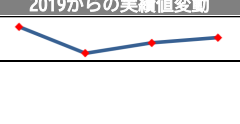

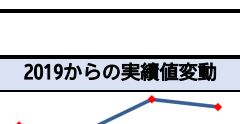
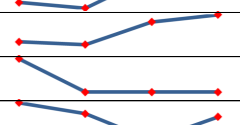
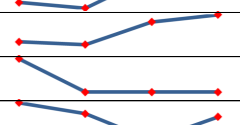
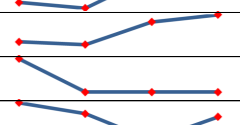
基本目標2：地域の魅力発信と「関係人口」の創出

<p>【各基本目標のKPIの傾向】</p> <p>■ 「社会移動率」は概ね均衡に近い推移状況ではあるものの、減少傾向にあるため、総合的・継続的に各種施策を展開し、本市の都市力を着実に強化することにより、「選ばれる都市」を目指していくことが必要である。</p> <p>■ 新型コロナウイルスの影響により減少した交流人口（観光客入込客数）やコンベンション開催件数、外国人宿泊者数が、コロナ禍前の状況に戻っていないため、誘客に向けた集中的な取組が求められる。</p>		<p>SDGsのゴール</p> 		<p><これまでのまちづくりネットモニター等での主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・郡山市の地方創生の取組をもっと広く、分かりやすくPRするべきである。 ・若者にはデジタル媒体、高齢者には紙媒体というように、受け手の属性に応じた情報発信が必要である。 ・郡山を活気つけて全国に発信できるイベントを開催してはどうか。 ・若者の県外流出を緩和・抑制することが重要と考えるため、若者に選ばれる地域の取組について取り組む必要がある。 ・ポストコロナを見据えた事業者支援並びに観光資源等の磨き上げや震災等の様々な災害を想定した対応について、引き続き取り組む必要がある。等 				
各基本目標のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動
1	社会移動率 ※2040年までに子育て世代（0歳から74歳）の社会移動率を段階的に改善	2040年時点で74歳までの社会移動率を段階的に改善	-	-0.00059 (2019)	-0.00277 (2022)	最大約4ポイント改善 (2040)	→	
2	交流人口（観光客入込客数）	本市を訪れた観光客の人数 ※2016から17→33に調査地点数変更	約362万人/年	約493万人/年	約282万人/年	500万人/年	↓	

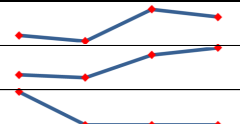
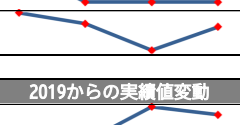
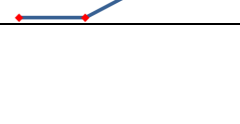
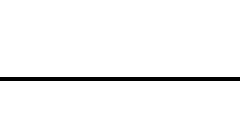



施策1：地域資源ブランド化による海外も含めた観光誘客と情報発信

個別施策のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動																								
1	こおりやまファンクラブ加入者数	こおりやまファンクラブ加入申込者の数	1,214人	1,487人 (2018)	1,713人	2,000人	→																									
2	コンベンション開催件数	開催されたコンベンションの件数	850件/年	877件/年 (2018)	561件/年	900件/年	↓																									
<p>【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】</p> <p>■ こおりやまファンクラブにおいて、協賛店舗による優待サービスの提供、メールマガジンの定期配信、転出者に対する周知、会員による市外での周知活動の依頼（入会時）を実施。過去5年間の平均加入者数が62人/年であり、新型コロナウイルス拡大以降は減少傾向が続いていたが、行動規制緩和による首都圏プロモーション機会の回復により、2022年度の申込者数は前年度と比較して僅かながら増加している。行動規制が解除され、今後プロモーション活動も増加するため、引き続き、目標値の達成に向けて取り組む必要がある。</p> <p>⇒【課題】こおりやまファンクラブが開始されてから10年が経過しており、地域と多様な関わりを持つ関係人口増加の施策にも取り組んでいることから、交流人口（観光客入込客数）の増加を目指す手段として、特典コンテンツの見直し等を含めたファンクラブ加入に係る優位性の分析と再検討が必要である。</p> <p>■ 新型コロナウイルスの影響により、減少したコンベンション開催件数、観光客数及び外国人宿泊者数が、コロナ禍前の状況に戻っていない。</p> <p>⇒【課題】令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類に変更となり、様々な活動の行動制限が緩和されたことから、会議や展示会を主催する学会・団体・企業と情報交換を行う商談会に積極的に参加する等、誘致活動をさらに推進する必要がある。また、観光庁や環境省の補助金等を活用し、ツアーを実施する等、地方誘客に効果の高いコンテンツを整備するなど、引き続き目標値の達成に向けて取り組む必要がある。</p>			<p>【参考】観光誘客事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>観光客数(人)</td> <td>約493万</td> <td>約282万</td> <td>500万</td> <td>↓</td> <td></td> </tr> </table> <p>【参考】インバウンド観光推進事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>外国人宿泊者数(人)</td> <td>13,356</td> <td>3,505</td> <td>8,000</td> <td>↓</td> <td></td> </tr> </table>						主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	観光客数(人)	約493万	約282万	500万	↓		主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	外国人宿泊者数(人)	13,356	3,505	8,000	↓	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動																											
観光客数(人)	約493万	約282万	500万	↓																												
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動																											
外国人宿泊者数(人)	13,356	3,505	8,000	↓																												


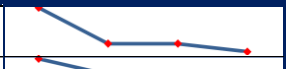

施策2：地域の特色ある歴史、音楽などの文化振興とスポーツ環境の充実

個別施策のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動												
1	市民音楽祭参加団体数	市民音楽祭参加団体数	207団体	205団体 (2018)	120団体	245団体	↓													
2	「開成館」、「歴史資料館」における観光入込客数	「開成館」、「歴史資料館」入場者数	13,765人	14,779人 (2018)	3,564人 (歴史資料館) 開成館は休館中	16,300人	↓													
3	2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業件数	2020東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致活動に向け実施する関連事業数	5件	39件	-	-	-													
4	市内プロスポーツ試合観戦来場者数	市内で開催されるプロスポーツ試合観戦来場者数	40,911人	40,710人	44,839人	48,000人	→													
5	市民一人当たりのスポーツ施設利用回数	市スポーツ施設の年間利用者数/人口	3.4回/年	3.5回/年	2.5回/年	4.0回/年	↓													
<p>【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】</p> <p>■ 「市民音楽祭」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がある中で、前年度より参加団体数が増加した。</p> <p>⇒【課題】SNS活用などポストコロナ時代に沿った事業展開が必要である。</p> <p>■ 新型コロナウイルス感染症の影響や、福島県沖地震の被害により「開成館」が令和3年2月14日から閉館しているため、減少した。</p> <p>⇒【課題】「開成館」の早期の災害復旧を図り、入場者数の増加に繋がる魅力ある日本遺産関連施設の情報発信等が必要である。</p> <p>■ プロスポーツ観戦来場者数については、市SNS、web等広報の拡充、サポーターズマッチの回数（バスケットボール4回、バレー2回、野球2回）増加及びイベントの充実（観客招待、郡山交響楽団コンサート、鯉関係グッズ等配布）により、増加した。</p> <p>■ スポーツ施設利用者数については、新型コロナウイルス感染症の制限緩和により、大会やイベント開催増加に伴い、回復傾向にあるものの、依然としてコロナ禍の影響を受けている。</p> <p>⇒【課題】開成山地区体育施設の改修に伴う休館・休場（2023年10月～）により、施設の利用が制限されるため、一時的な利用者数の減少が見込まれる。</p>			<p>【参考】郡山シティーマラソン大会開催事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>大会参加者数</td> <td>7,648人</td> <td>4,531人</td> <td>7,000人</td> <td>↓</td> <td></td> </tr> </table>						主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	大会参加者数	7,648人	4,531人	7,000人	↓	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動															
大会参加者数	7,648人	4,531人	7,000人	↓																


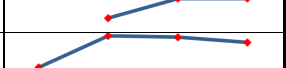

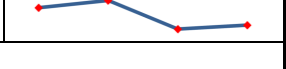
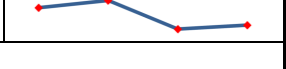
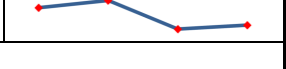



施策3：地方への人の流れをつくり、地方を訪れ住み続けるための移住・定住環境の整備と「関係人口」の創出

個別施策のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動												
1	創業・起業家数【再掲】	市内において、新たに創業・起業した人の数	54件/年	50件/年 (2018)	79件/年	50件/年	↗													
2	農業・農村体験イベント参加者数	農業・農村体験イベント参加者数	252人	398人	643人	600人	↗													
3	農家民宿宿泊者数	農家民宿宿泊者数	158人	70人	0人	100人	↓													
4	市内大学・短大・専門学校の学生数	市内に立地する大学・短大・専門学校の学生・生徒数	10,799人	10,796人 (2018)	10,609人 (2022)	維持 (2014の10,799人)	↓													
<p>【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】</p> <p>■ 農業・農村体験イベント参加者数は、「ふれあい体験農園」、「まるごと農業体験」、「ふるさと田舎体験事業」の実施により、参加者数が増加した。</p> <p>■ 農家民宿宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、農家民宿の多くが営業を休止したため、宿泊実績はなかった。</p> <p>⇒【課題】農家民宿の宿泊者数が新型コロナウイルス感染症の収束後に回復できるよう、PRの強化が必要となる。</p> <p>■ 姉妹都市等との交流人口については未来を担う市内の子ども達とオリンピック、パラリンピックとの継続したオンライン交流などを実施し、東京2020競技大会のレガシーを継承することができた。また、食や文化、スポーツ、相手国で購入できる郡山の食材を交流に取り入れるなど、園芸畜産振興課やスポーツ振興課と部局間連携して実施することができた。国内においては、互いの伝統工芸品である和紙や、給食交流を通して、交流人口の増加が図れた。</p>			<p>【参考】ホストタウン・都市間等交流推進事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>姉妹都市等との交流人口</td> <td>2,310</td> <td>22,302</td> <td>650</td> <td>↗</td> <td></td> </tr> </table>						主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	姉妹都市等との交流人口	2,310	22,302	650	↗	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動															
姉妹都市等との交流人口	2,310	22,302	650	↗																

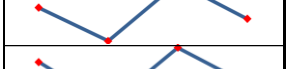
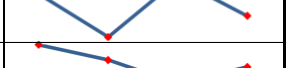
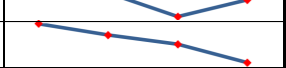



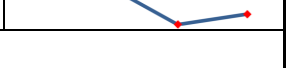
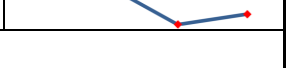
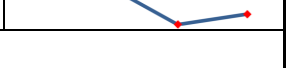
基本目標3：切れ目無い子育て支援と女性・子育て世代の活躍推進

<p>【各基本目標のKPIの傾向】 ■全国的な人口減少、少子高齢化の影響同様に、本市の「合計特殊出生率」は低下傾向にあり、また、「出生数」についても減少傾向が続いている。「安心して子どもを生み、育てられるまち郡山」の実現を目指し、各種施策を総合的・継続的に展開していくことが必要である。</p>				<p>SDGsのゴール</p> 		<p><これまでのまちづくりネットモニター等での主な意見> ・郡山市は教育環境、医療機関の充実も含めて子育てのしやすいまちだと感じる。 ・出産・育児で仕事を離れた母親の再就職に対するさらなる支援があるとよい。 ・子育てと仕事両立できるように公立保育園の充実が必要である。 ・全国的な少子高齢化のなかで、結婚・子育てしやすいまちに向けて、他の地域との差別化に取り組む必要がある。等</p>		
各基本目標のKPI	説明	初期値(2014)	策定前実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	
1 合計特殊出生率 ※2040年までに合計特殊出生率を段階的に改善	一人の女性が一生に産む子どもの平均数を段階的に改善	1.49	1.47(2018)	1.36(2021)	1.48	↓		
2 出生数	一年に生まれる子どもの数	2,694人/年	2,510人/年(2018)	1,978人/年(2022)	3,000人/年	↓		

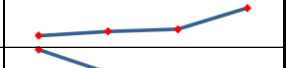
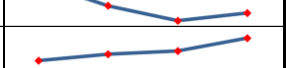
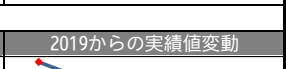






施策1：結婚～妊娠～出産～子育ての切れ目ない支援

個別施策のKPI	説明	初期値(2014)	策定前実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動												
1 待機児童数(認可保育所等)(4月時点)	入所申請をしたが、保育所に入所できない状態にある児童数	-	20人	0人	0人	↗													
2 「認可保育施設」の満足度	保護者アンケートにより保育施設に「満足」「やや満足」と回答した人の割合	(2020改訂にあたり新設)	-	92.6%(2021)	100%	→													
3 市民意見リーダーにおける「子育て」の満足度	市民意見リーダーにおいて「子育て」に対し満足と回答した人の割合	58.4点	72.5点	74.4点	74.0点	↗													
<p>【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■ これまで、46施設(定員2,556人分)を整備し、2022年4月時点で、認可保育所等の国基準待機児童0人を達成したが、年度中に累積する待機児童の解消には至っていない。 ⇒【課題】未就学児の人口は減少傾向にあるが、引き続き、幼稚園の認定こども園への移行、認可外保育施設の認可保育施設への移行を推進し、保育ニーズの高まりに対応する必要がある。 ■ 保護者アンケートにおける満足度の点数は、現在92.6%と高い水準にあるが、引き続き、保育の質の向上や、医療的ケア児童など、保育ニーズの多様化への対応に取り組む必要がある。</p>																			
<p>【参考】地域子育て支援センター事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>子育て支援センター事業利用者数</td> <td>43,624人(2018)</td> <td>32,554人</td> <td>30,000人</td> <td>→</td> <td></td> </tr> </table>								主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	子育て支援センター事業利用者数	43,624人(2018)	32,554人	30,000人	→	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
子育て支援センター事業利用者数	43,624人(2018)	32,554人	30,000人	→															
<p>【参考】妊産婦健康診査事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>妊婦健診受診者数</td> <td>28,349人</td> <td>23,803人</td> <td>26,400人</td> <td>↓</td> <td></td> </tr> </table>								主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	妊婦健診受診者数	28,349人	23,803人	26,400人	↓	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
妊婦健診受診者数	28,349人	23,803人	26,400人	↓															


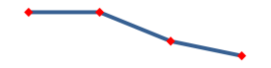
施策2：子どもたちが健やかに成長できる地域づくり

個別施策のKPI	説明	初期値(2014)	策定前実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動												
1 体力・運動能力調査の全国との比較割合 (調査対象：小学校5年生(義務教育学校5年生)、中学校2年生(義務教育学校8年生))	体力・運動能力調査の全国との比較割合(小学校5年生(義務教育学校5年生)、中学校2年生(義務教育学校8年生))	小学校5年生：37.5% 中学校2年生：12.5%	小・義5年生：25.00%(2018) 中2・義8年生：56.25%(2018)	小・義5年生：16.66%(2022) 中2・義8年生：27.77%(2022)	小・義5年生：62.5% 中2・義8年生：62.5%	↓													
2 育児家庭訪問実施数	育児家庭訪問実施数	82件	68件(2018)	52件(2022)	100件	↓													
3 3歳児健診虫歯有病者率	3歳児健診における虫歯有病者率	25.40%	17.22%(2018)	11.49%	15.00%	↗													
<p>【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■ 2022年度の全国体力運動能力調査の結果は、近年に低く低い数値であった。コロナ禍で運動機会が減少し、全国平均が低い数値になっているが、郡山市全体も全国平均よりも低い値になっている。 ⇒【課題】全国体力・運動能力、運動習慣等調査の中では「体育の授業が楽しい」と答えている生徒が全国平均以上であることから、さらに体育に対する興味・関心を高め「運動が好き」という児童生徒を増やし、体力向上につなげる必要がある。 ■ 助産師等の専門職による訪問支援が必要な家庭のうち、育児に対して大きな不安や問題を抱えている家庭が増えていると見られ、1世帯当たりの訪問回数が増加し、育児家庭訪問実施数は昨年度に比較し増加したが、目標値の達成に向け、更なる訪問実施を行う必要がある。 ■ 幼児健康診査、幼児虫歯予防事業、保育所巡回指導等を継続的に行うことにより、3歳児健診における虫歯有病者率は減少しており、中核市平均を下回っている。</p>																			
<p>【参考】子どもの遊び場</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>子どもの遊び場利用者</td> <td>140,649人(2018)</td> <td>105,944人</td> <td>80,000人</td> <td>→</td> <td></td> </tr> </table>								主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	子どもの遊び場利用者	140,649人(2018)	105,944人	80,000人	→	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
子どもの遊び場利用者	140,649人(2018)	105,944人	80,000人	→															
<p>【参考】保育所地域ふれあい事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>保育所地域活動事業参加者数</td> <td>23,742</td> <td>7529</td> <td>20,000</td> <td>↓</td> <td></td> </tr> </table>								主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	保育所地域活動事業参加者数	23,742	7529	20,000	↓	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
保育所地域活動事業参加者数	23,742	7529	20,000	↓															

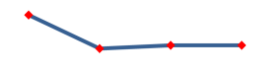

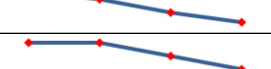
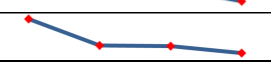

施策3：全ての人が働きやすくなる働き方改革の実現

個別施策のKPI	説明	初期値(2014)	策定前実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動												
1 審議会・委員会等の女性委員登用率	地方自治法に基づく行政委員及び委員会等における女性委員の割合	29.7%	28.1%	30.7%	40.0%	↓													
2 ファミリーサポートセンター活動件数	ファミリーサポートセンターへ登録する会員同士の地域における子どもの預かり活動件数	2,829件	3,189件(2018)	1,869件	3,300件	↓													
3 育パパサポート奨励金支給人数	民間企業の男性従業員が育児休業を取得した場合に奨励金を支給した人数	-	5人	12人	10人	↗													
<p>【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■ 女性委員の登用率については、促進に向けた働きかけにより向上させることができたものの、目標値には達していない状況であり、今後においても更なる促進が必要である。 ■ 新型コロナウイルスの影響により、ファミリーサポートセンターの子ども預かり活動件数が減少した。 ⇒【課題】女性の社会参画によりニーズは高まるため、預かり手の新規会員確保も課題である。昨年度は、地域公民館での周知活動や市内中学校の保護者に対しチラシの配布を行い、1割程度増えたことから、引き続き実施していく。 ■ 国の「働き方改革」の推進に向けた法令改正(2021年10月1日 育児・介護休業法の改正による「産後パパ育休」制度の創設)により、本市の育パパサポート奨励事業の実績は増加傾向を示している。 ■ 「こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議」や男女共同参画に係る講座等をととして、ワークライフバランスの推進や女性活躍への意識改革を図ることで、目標値を達成した。</p>																			
<p>【参考】一時的保育事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>一時保育の利用人数(のべ)</td> <td>14,579</td> <td>10,586</td> <td>16,040</td> <td>↓</td> <td></td> </tr> </table>								主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	一時保育の利用人数(のべ)	14,579	10,586	16,040	↓	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
一時保育の利用人数(のべ)	14,579	10,586	16,040	↓															
<p>【参考】保育所地域ふれあい事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議参加団体</td> <td>39</td> <td>54</td> <td>52</td> <td>↗</td> <td></td> </tr> </table>								主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議参加団体	39	54	52	↗	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議参加団体	39	54	52	↗															

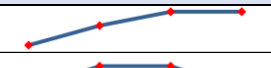

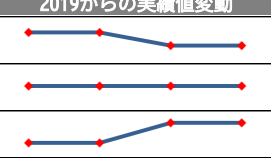
基本目標4：住民・企業が集う気候変動対応型まちづくりの推進

各基本目標のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動
【各基本目標のKPIの傾向】 ■ 2017年度にセーフコミュニティ国際認証取得後、交通事故多発地点マップの作成や事故予防の啓発チラシの作成等に取り組む交通安全対策委員会をはじめとする6つの分野別対策委員会（交通安全、こどもの安全、高齢者の安全、自殺予防、防犯、防災・環境安全）において、継続した活動を行い、2022年度に再認証を取得した。 ■ 全国的な人口減少、少子高齢化の影響と同様、「こおりやま広域圏における人口」も減少傾向にある。								
SDGsのゴール 								
<これまでのまちづくりネットモニター等での主な意見> ・地域の防災についての取組は着実に進んでいると感じる。 ・高齢者が住みやすいまちとなるよう、公共交通機関のさらなる充実と運賃の低価格化が必要。 ・近ごろテレビなどでSDGsについて聞く機会があり、早くからSDGsに取り組んできたのは良いと思う。 ・脱炭素に向けた省エネ型施設の整備等は「未来への投資」であり、地域経済の活性化と中長期的なエネルギー費用の域内循環を創出するものであり民間事業者も含めた再生可能エネルギー導入促進などに取り組む必要がある。 ・災害弱者への個別避難計画の策定及び目標値の設定をすべきである。等								
1	セーフコミュニティ認証取得及び活動の継続	セーフコミュニティ認証取得に向けた活動	-	認証取得 (2017) 及び活動の継続	再認証取得 (2022) 及び活動の継続	再認証取得 (2022) 及び活動の継続	↗	-
2	こおりやま広域圏における人口 (郡山市を含む16市町村)	本市及び近隣15市町村で構成されるこおりやま広域圏人口	約60.8万人 (2010国勢調査) (15市町村)	約65万人 (2015国勢調査) (16市町村)	約62万人 (2022年10月1日推計人口) (17市町村)	61.4万人 (2025)	→	

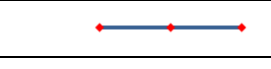

施策1：災害、事故・犯罪のない安全・安心なまちづくり

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動	
1	温室効果ガス排出量 ※「郡山市地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)」改定中のため、目標値は暫定値	(2020改訂にあたり新設)	2,961千t-CO2 (2016)	2,871千t-CO2 (2019)	2,538千t-CO2 (2020)	↘		
2	リサイクル率 (市全体)	(2020改訂にあたり新設)	16.11% (2018)	10.63% (2022)	22.23%	↘		
3	消防団員数	2,530人	2,416人	2,109人	2,361人	↘		
4	市内交通事故死亡者数	11人	9人	5人	3人以下	↗		
5	犯罪発生件数	3,341件	2,118件	1,413件	2,200件	↗		
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■ 近年の環境や省エネに対する意識の向上等により、市内の温室効果ガス排出量は減少傾向にある。 ⇒【課題】市内の温室効果ガス排出量は減少傾向にあるが、2021年3月策定 (2023年3月一部改定) した「郡山市気候変動対策総合戦略」において、より高い目標を掲げており、今後、更なる対策の強化が必須の状況にある。特に、運輸部門 (自動車) における排出量は増加傾向にあることから、次世代自動車の導入推進等、より具体的な施策・対策が必要である。 ■ 集団資源回収量は減少しているものの、行政による資源物回収量の増加率が上回ったため、リサイクル率は前年度より上がった。 ■ 2023年1月2日夜に市内大平町で発生した交通死亡事故を受け、1月19日から3月31日の期間において、交差点形状や区画線、カーブミラーの有無や不具合等を調査するため、市内全域の市道283箇所を点検したところであり、10月末までに白線の引き直し等の修繕が完了予定。 ■ 自主防災組織数は、42団体。コロナ禍であるため、1団体当たりの参加人数を限定した形で10月に総合防災訓練に参加してもらった。また防災意識の向上を図るため、冬季には、勉強会を開催したところ。KPIを防災訓練を実施した自主防災組織数にしたほうが良いと思われる。		【参考】町内会活動促進事業 主な成果指標 町内会加入世帯数		89,514	87,968	101,500	↘	
		【参考】自主防災組織活動支援事業 主な成果指標 自主防災組織での防災訓練実施回数		42	1	42	↘	


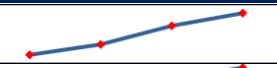

施策2：新たな技術を活用した持続可能な公共・社会基盤の構築

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動	
1	公共施設延床面積縮減率	-	0.1%(2018)	1.8%(2021)	4.5%(2025)	↘		
2	民間提案を生かしたPPPによる施設の管理運営数 (公募による指定管理者制度導入施設)	48施設	62施設	62施設	67施設	↘		
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■ 老朽化した市営住宅の除却等により、公共施設延床面積は縮減傾向にある。 ⇒【課題】「郡山市公共施設等総合管理計画」に基づき、施設の複合化・集約化を推進するなど、さらなる総量縮減に向けた取組が必要。		【参考】新公会計制度・複式簿記制度導入事業 主な成果指標 財務諸表作成		30会計 101目 87事業	29会計 101目 89事業	26会計 100 89	↗ → ↗	
※このほか、2016年度決算より参考として4企業会計についても会計別財務諸表を作成								

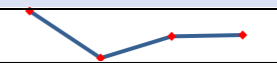
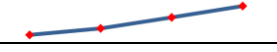






施策3：地域連携により暮らし続けられる都市圏の形成

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動	
1	連携中枢都市圏ビジョンにおいて設定する基本目標の向上項目数	(2020改訂にあたり新設)	-	2項目	11項目	→		
【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】 ■ こおりやま広域圏で連携し、地域課題解決に向けて各連携事業に取り組んでいる。 ⇒【課題】広域圏各市町村と各企業・団体等との公民協奏パートナーシップ協定などの取組により圏域全体の経済の活性化、住民サービス向上の一層の深化につなげる。 ■ 利用者減少等の理由から各地区の路線バスが廃止されることにより失われた地域住民の交通手段を確保するため、2019 (令和元) 年度から4カ年の計画に基づき、順次乗合タクシーの導入を進めてきた。2022 (令和4) 年度には、新たに片平・中田地区での運行が開始され、当初計画した10地区での乗合タクシーの導入が完了した。また、利用者アンケートの実施や地区懇談会などを実施し、乗合タクシー利用時の利便性向上に努めている。		【参考】乗合タクシー運行事業 主な成果指標 利用者数		(2020改訂にあたり新設)	9611	10,000	↗	

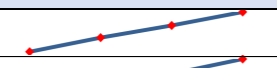
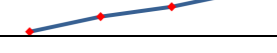
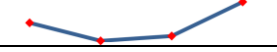
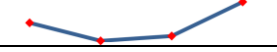
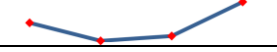



基本目標5：あらゆる世代が居場所と役割を持ち生きいきと暮らせるまちづくり

<p>【各基本目標のKPIの傾向】</p> <p>■ 高齢者スポーツ大会の開催や受動喫煙防止対策の推進等により、元気高齢者（65歳以上の要介護認定を受けていない方）は増加している一方で、高齢者全体に占める要介護認定率も増加傾向にあることから、引き続き、更なる健康増進を図るための各種施策に取り組む必要がある。</p> <p>■ 「特定健康診査受診率」については、令和2.、3年度と比較し、新型コロナウイルスの影響が落ち着いてきたこともあり上昇している。今後も目標の達成に向けて、さまざまな年代向けの特定健康診査の周知啓発が必要な状況である。</p>		<p>SDGsのゴール</p> 		<p><これまでのまちづくりネットモニター等での主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域、世代を越えた交流の場があると思う。 ・特別支援が必要な子どもの教育環境や障がい者が活躍できる企業などのさらなる充実が必要。 ・コロナ禍もあり高齢者の生活環境が悪くなっていると感じるため、活躍の場、社会参加の場など高齢者が生きがいの持てる環境づくりをしてほしい。 ・ウィズコロナ・ポストコロナにおけるテレワークの推進やオンラインによる商談会の開催など企業や市民を取り巻く環境は大きく変化しており、企業の事業継続支援や交流人口の拡大、ビジネスにおける交流の促進、都市部からの移住対策などに遅滞なく取り組む必要がある。等 			
各基本目標のKPI	説明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2022）	目標値（2024）	傾向	2019からの実績値変動
1 元気高齢者数（65歳以上の高齢者のうち要介護認定を受けていない者の数）	介護保険制度における要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者の数	62,947人	68,323人(2018)	71,945	72,000人	↗	
2 特定健康診査の受診率（郡山市国民健康保険被保険者）	市国民健康保険に加入している40歳から75歳未満の方の特定健康診査受診率	32.3%	38.2%(2018)	39.7%	60.0%(2023)	↘	




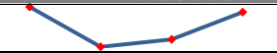
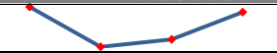
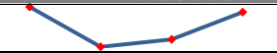



施策1：高齢者が健康で活躍し続けられるまちづくり

個別施策のKPI	説明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2022）	目標値（2024）	傾向	2019からの実績値変動												
1 高齢者健康長寿サポート事業により増加した高齢者の外出数	高齢者健康長寿サポート事業により増加した高齢者の外出数	延べ65,679回 (2015.4-10)	延べ231,192回(2018)	延べ120,413回(2021)	延べ270,000回	↘													
2 緊急通報システム 新規申請件数	緊急通報システムの新規申請件数	(2020改訂にあたり新設)	187件	205件	251件	↘													
<p>【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】</p> <p>■ 高齢者スポーツ大会は新型コロナウイルス感染防止に留意し、かつ高齢者のADL維持または向上及び孤立を防ぐため例年屋内で行ってきた高齢者スポーツ大会を屋外へ移し、競技も屋外で行うゲートボールのみに変更した結果、外出数の増加につながった一方で、新型コロナウイルスの5類移行を踏まえ、目標値に向けた更なる外出機会の提供が必要である。</p> <p>■ 緊急通報システム事業については、緊急通報装置の貸与や定期的な安全確認等により、緊急時の安全確保や在宅生活における不安の払拭等に対応できており、高齢者世帯の在宅生活の安全・安心につながるため、申請件数は増加傾向にある。</p> <p>⇒【課題】緊急通報システム事業の対象要件（協力員の確保、家庭や身体状況など）や緊急通報の運用方法などについて、緊急通報システムの見直しや実態調査等を通じて、引き続き事業の精度を高めていく必要がある。</p>																			
<p>【参考】高齢者の生きがいと健康づくり事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>スポーツ大会参加者数</td> <td>822人</td> <td>56</td> <td>800人</td> <td>↘</td> <td></td> </tr> </table>								主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	スポーツ大会参加者数	822人	56	800人	↘	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
スポーツ大会参加者数	822人	56	800人	↘															
<p>【参考】いきいきデイクラブ事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>6,054人</td> <td>2,752人</td> <td>7,085人</td> <td>↘</td> <td></td> </tr> </table>								主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	延べ利用者数	6,054人	2,752人	7,085人	↘	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
延べ利用者数	6,054人	2,752人	7,085人	↘															

施策2：住民や多様な主体が支え合える優しい地域づくり

個別施策のKPI	説明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2022）	目標値（2024）	傾向	2019からの実績値変動												
1 認知症サポーター養成者数（累計）	認知症サポーター養成講座の受講者数	8,422人	32,634人	37,034人	55,000人	↘													
2 郡山市認知症高齢者SOS見守りネットワーク連絡会加盟団体数	郡山市認知症高齢者SOS見守りネットワーク連絡会加盟団体数	57団体(2015)	111団体	119団体	140団体	↘													
<p>【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】</p> <p>■ 認知症サポーター養成事業については、前年度と比較すると、開催数及び養成者数が増加している。また、認知症高齢者SOS見守りネットワークにおいては、認知症の理解促進により、加盟団体が微増し、行方不明発生時等見守り体制の協力が得られている。</p> <p>⇒【課題】働き世代を中心とした認知症の周知啓発を図るため、認知症高齢者SOS見守りネットワーク連絡会加盟団体を中心に認知症サポーター養成講座の開催を促していく必要がある。また、認知症高齢者等の見守りを強化するため、民間企業等の加盟を促し、かつ加盟団体との連携強化に努める必要がある。</p> <p>■ 障がい者スポーツ教室参加人数は、増加傾向にあり、目標を達成している状況である。中学生を対象としたバラスポーツ（シッティングバレー・車いすバスケ・ポッチャ等）体験教室を開催するとともに、包摂社会の実現に向けての考え方についても理解を深めた。</p>																			
<p>【参考】障がい者の社会参加及び障がい者理解促進事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>障がい者スポーツ教室参加人数</td> <td>303</td> <td>369</td> <td>300</td> <td>↗</td> <td></td> </tr> </table>								主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	障がい者スポーツ教室参加人数	303	369	300	↗	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
障がい者スポーツ教室参加人数	303	369	300	↗															
<p>【参考】一般介護予防事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>住民主体の通いの場活動箇所数</td> <td>115箇所</td> <td>130箇所</td> <td>170箇所</td> <td>↘</td> <td></td> </tr> </table>								主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	住民主体の通いの場活動箇所数	115箇所	130箇所	170箇所	↘	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
住民主体の通いの場活動箇所数	115箇所	130箇所	170箇所	↘															

施策3：あらゆる住民・世帯が安心して健康に暮らせる社会の構築

個別施策のKPI	説明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2022）	目標値（2024）	傾向	2019からの実績値変動												
1 「空気のきれいな施設」認証施設数	市内において禁煙に取り組む施設の数	(2020改訂にあたり新設)	825施設	887施設	940施設	→													
2 食育に関する市民の認知度	食育について理解している成人の数	95%	75.8%	96.1%	100%	↗													
3 医療相談件数	医療相談窓口に寄せられた相談、苦情の件数	347件/年	442件/年(2018)	397件/年	250件/年	↘													
<p>【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】</p> <p>■ 市民の健康づくりの推進に向け、受動喫煙防止対策及び食育の推進等を行うことで、認証施設数は増加傾向にある。</p> <p>⇒【課題】今後も民間企業などとの連携を推進し、健康寿命の延伸に取り組む必要がある。</p> <p>■ 家庭・企業でのフードロス対策、行政による離乳食教室や幼児栄養相談事業の実施等に加え、2023年度から小中学校給食の公費負担を実施し、地域・食育関係者・行政が連携して食育の取組を支援したこと等により、食育に関する市民の認知度は向上している。</p>																			
<p>【参考】救急医療体制確保事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>休日・夜間救急センター受診者数</td> <td>13,473人</td> <td>12,201人</td> <td>13,000人</td> <td>↘</td> <td></td> </tr> </table>								主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	休日・夜間救急センター受診者数	13,473人	12,201人	13,000人	↘	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
休日・夜間救急センター受診者数	13,473人	12,201人	13,000人	↘															
<p>【参考】障がい者相談支援事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2022)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> <th>2019からの実績値変動</th> </tr> <tr> <td>障がい者相談件数</td> <td>23,138件</td> <td>36,416件</td> <td>21,000件</td> <td>↘</td> <td></td> </tr> </table>								主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動	障がい者相談件数	23,138件	36,416件	21,000件	↘	
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動														
障がい者相談件数	23,138件	36,416件	21,000件	↘															

基本目標6：教育の質の向上と誰もが楽しく学べる環境づくり

各基本目標のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動
1	市民意見リーダーにおける「生涯学習」の満足度	市民意見リーダーにおいて「生涯学習」に対し満足と回答した人の割合	64.2点	70.6点	70.7点	72.0点	↘	

SDGsのゴール

<これまでのまちづくりネットモニター等での主な意見>

- ・学力向上にさらに力を入れることで、地元での進学、就職が増加すると思う。
- ・教育の多様性、内容を充実させることで、若い人が子どもの教育に魅力を感じるまちにしてほしい。
- ・公民館で開催している社会教育、生涯学習に関する講座等をオンライン化してはどうか。
- ・学校教育において、生徒や教員自身のICT活用能力の向上を図る取り組みを推進する必要がある。
- ・図書館の利用状況等についてもコンテンツの充実や学びの環境充実を示すような項目を指標化してはどうか。等

施策1：AI等も活用した先進的な教育による質の向上

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動
1	教育用パソコン・タブレット端末等1台当たりの児童生徒数	7.6人/台	3.4人/台	1.0人/台	1人/台	↗	
2	教職員1人当たりの研修講座参加回数	(2020改訂にあたり新設)	3.8回	2.4回	2.5回	↘	

【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】

- GIGAスクール構想の実現に向け、2021年度末には児童生徒1人1台端末の整備が完了している。
- ⇒【課題】児童生徒の情報モラル教育の充実と、教員のICT活用指導力の向上が必要である。
- コロナ禍ではあったが、状況に応じてオンライン研修と対面研修を使い分けながら、研修会を実施してきた。
- ⇒【課題】「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励」（新たな教師の学びの姿の実現のため教師と学校管理職が対話を繰り返す研修手法）の推進に向け、教職員研修の充実を図る必要がある。

施策2：世界的視野で活躍できるグローバルな人材の育成

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動
1	民俗芸能記録保存団体数	6団体	8団体(2018)	9団体(2021)	11団体	↘	

【参考】小中学校英語教育推進事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動
中学校卒業段階における英検3級以上取得者の率	46.10%	46.20%	50%	↘	

施策3：誰もが学ぶことができる学習機会の確保・充実

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2022)	目標値 (2024)	傾向	2019からの実績値変動
1	公民館利用者数	約111万人	約123万人(2018)	約68万人(主催含まれてません)	123.5万人(2023)	↘	
2	あさかの学園大学学生数	466人	492人	496	660人	↘	
3	市民一人当たりの図書貸出冊数	3.4冊	3.7冊	3.3冊	4.0冊	↘	

【参考】生涯学習支援事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2022)	目標値(2024)	傾向	2019からの実績値変動
市政きらめき出前講座受講者数	15,417	10,005	12,000	↘	

【KPIに関連する事業の主な取組状況、成果、課題等】

- あさかの学園大学において、広報誌等に加えTV媒体での広報活動を行った結果、学生数は微増している。(2022年度市内396人、広域圏100人)
- ⇒【課題】こおりやま広域圏への更なる広報活動に努める必要がある。また、カリキュラムにおいても、広域圏市町村にかかる内容も取り上げていく必要がある。
- 図書館においては、新型コロナウイルス感染症の影響や、2021年2月及び2022年3月発生の福島県沖地震により中央図書館が被災し、修繕のため長期休館をしていたが、令和4年6月から全面開館となり貸出冊数も増加傾向にある。
- ⇒【課題】点字や音声読み上げに対応可能な電子書籍の導入は、視覚障がい者等がその内容を容易に認識することができ、利便性の向上に資する事業でもあるため、図書館サービスのデジタル化を進めることなどにより、来館不要でいつでも利用できる図書館サービスの充実を図っていく必要がある。